

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 南戸塚小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 5 「地域カルタをつくろう」 No. 11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全74時間)	ほのぼの商和会 知らせたい! 盛り上げたい!
学習のねらい	南戸塚のまちには様々な魅力や特徴があり、それを捉えることで地域活性化にもつながることに気付くとともに、地域活性化のために取り組んでいる人々には思いや願いがあり、それを実現するために行動していることが分かり、地域の中で自分にできることがあることを考え実行しようとする。
学習内容	1 ほのぼの商和会と一緒に七夕祭りを成功させよう 2 もっと知りたい ほのぼの商和会 3 これからもよろしく 商和会
参考資料 準備品 実施場所等	・タブレット端末 ○戸塚宿ほのぼの商和会 ○南戸塚小学校

学習の流れ

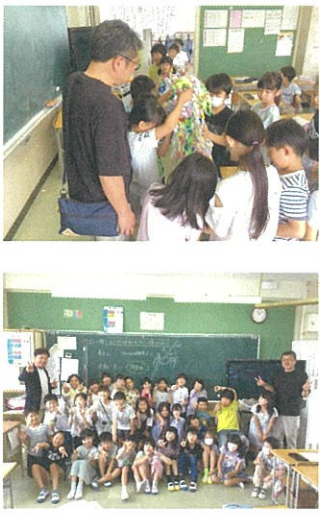
時間	学習活動	教師の指導	評価
10	1次 ほのぼの商和会と一緒に七夕祭りを成功させよう ・まち調査 1回目 学校の身近な場所の調査 2回目 人や交通の多い所に注目した調査 駅近辺、商店街中心。 まち調査では、児童がカメラを一人一台使用し、ポイントで写真を撮れるようにする。	・土地活用の様子、建物の様子、人や交通の様子、これらから地理的な視点で地域を見ていけるよう助言する。 ・戸塚宿ほのぼの商和会とのかかわりのきっかけになるよう会長と商店街の中で会えるようにする。	・社会 知識・技能 思考・判断・表現
3	・戸塚宿ほのぼの商和会会長に学校で話をしてもらおう。	・商店街の役割や思いに児童が気が付けるように事前に打ち合	・社会 知識・技能



	<p>学校に来校してもらい、商店街の思い、ビジョンについて話してもらおう。</p>	<p>わせを行う。</p>	<p>思考・判断・表現</p>
1 2	<p>・商店街主催で行う七夕づくりに参加するため七夕飾りや短冊を作る。 3年生が中心になり、学校の児童に対して周知、募集をする。</p>	<p>・児童一人ひとりの思いを大切にして七夕に向き合い、達成感を感じられるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間 知識・技能 思考・判断・表現</p>
3	<p>・商店街の方が届けてくれた竹に七夕飾りをつけ、一緒に地域に飾る。</p> <p>2次 もっと知りたい ほのほの商和会</p>	<p>・一緒に飾りに行くことで、児童が自分たちで商和会の活動に協力できたという思いをもてるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間 知識・技能 思考・判断・表現</p>
1 6	<p>・商店街のよさを自分たちで考える活動。 6、7人のグループ毎（学年で10グループ）に店舗に伺い、インタビューを行う。 10店舗程度と関わる予定。 2回程度。</p>	<p>・1グループ1店舗担当して行うことで、責任をもって行うことができたり、よりお店の方の思いを捉えることができたりするようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間 知識・技能 思考・判断・表現</p>
9	<p>・担当した店舗の良い所をポスターにまとめる。店舗の写真、周辺の様子等を写真に撮ったりする。</p>		<p>総合的な学習の時間 知識・技能 思考・判断・表現</p>
9	<p>・商店に飾れるように、ポスターカード(ハガキの大きさ)を作成し、商店に飾る。この写真は、商店街の店舗や周辺の写真を使用。学校で配付できるようにする。</p>	<p>・店舗や商店街のよさを伝えられるようにするために、どのような写真を使用すればよいのか考えられるように時間を保証する。</p>	<p>総合的な学習の時間 知識・技能 思考・判断・表現 総合的な学習の時間</p>

	<p>ここで、支援事業の予算を使用する予定。</p> <p>3次 これからもよろしく 商和会</p>		<p>間 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組み 態度</p>
1 1	<p>・今まで学習して分かったことを伝える、お礼の気持ち、「これからもよろしくお願いします」の気持ちを込めて、店舗に訪問し、店舗毎にお礼の会を開く。</p>	<p>・今までの学習を言語化したり、気持ちを形にできたりするように相手意識をもって学習をまとめられるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組み 態度</p>
1	<p>・自分にどのような力がついたか振り返りを行う。</p>	<p>・個人→全体化→個人になるような1位時間の流れにする。 ・具体から汎用的な力を児童が認識できるようにする。</p>	<p>総合的な学習の時間 知識・技能 主体的に取り組み 態度</p>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立南戸塚小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
28	教室 学校近く のほのぼの商和会 の2店舗	1次 ほのぼの商和会と一緒に七夕祭りを成功させよう ※学習の流れ参照		<p>ほのぼの商和会の方が主催している七夕祭りの飾りを学校で手伝ったので、 「こんなにたくさんの飾りを作ってくれてありがとう。」 「七夕まで大事に飾るね。」 と言って喜んでもらえました。</p>

				
34	教室 ほのぼの 商和会の 11店舗	2次 もっと知りたい ほのぼ の商和会 ※学習の流れ参照		<p>「お店に来てくれてありがとうございます。」 「こうやって仕事をしているんだよ。」 「私たちの仕事はね。」 ととても子どもたちのためにそれぞれの店舗が準備をしてくださって、温かく対応してくださいました。 店舗の方々もとても楽しそうに子どもと接してくださいました。</p>

				
12	教室 ほのぼの 商和会の 11店舗	3次 これからもよろしく 和会 ※学習の流れ参照	商 	「こんなにすごい もの作ってくれて ありがとう。」 「お店に飾るから ね、考えてくれて ありがとう。」 と店舗の方は、子 どもたちにたくさ んの感謝の言葉を

				<p>言ってくださったり、笑顔を見せてくださったりしました。それを見聞きした子どもたちはとても達成感と満足感を感じている様子でした。</p>
--	--	--	---	--

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>学習のねらいを達成するために、子どもたち一人ひとりが地域の方々と十分に接する必要があると考えた。そのために、店舗を訪れる際は、小グループ（5～8人）程度にし、時間も1時間たっぷりとした。計3回店舗を訪れることにより、地域への愛情や店舗の方々への思いをもって活動できるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p>

一人ひとりが十分に活動できるようにしたからこそ、11店舗と関わる活動になった。そのため、見通し、連絡調整、時間調整、引率等、が大変だった。

(3) 児童の反応

3年生なので、総合の活動が初めてである。そのため、最初はほのぼの商和会の活動を手伝うところから始まり、徐々に自分たちで考えて活動できるようになった。何度も店舗を訪れることにより、「休みの日にお店に行ってきたんだ。」と少しずつ身近なものになっていった。自分たちで考えた店舗のカードが実際に印刷され手元に届いたことで、より自分たちの活動が形になってきたことを実感し、全校の児童にプレゼントした。また、そのカードを店舗に届け、今までの感謝の気持ちを店舗の方に伝えたことで、地域の一員として自分たちも行動できるという自信がついた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

今回の助成金が出ることで、単元構想がより柔軟に考えられた。児童がより自分たちの活動を実感できるような活動にすることができた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

商店街との関わりを学習として行ったが、学校から商店街まで距離があり、移動時間がかかってしまった。児童がより身近に感じるために、商店街にこだわらず、近くにある店舗と関わってもよいのではないかと感じた。

作成したカード

